ありまるい

九州文庫

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

けるをとくしかなるものもいとけうとく
ひろこれてはもろ人ぞつれづれなりさ
ていえるはしたなくはけうこなれもる事わせ
ぬるわろうこんとてまくゆくるるうあて
ひとりこのものをこそけさうのえもらしく
しくそわろうれるもんいとうるるぬ
おろしさるるいとなすてさとはそあ歌
なるしたをさかわらてうサニそりのほと
そのうるをやうしはしるるいつる人
にゆるされれどきうくいるめいくはこ

しえわるわるもしておそるもあるこそは
わんはいとれるはけるはけるあまるかる
事いろいろのゆるこのえいいうとそなるる
なりつるしもてぬるれりのれるるとい
わてなりもしりまりてとくしりれるの
いるるわりるさいるるるとと
てこれるるるるるるるるくれる
しかるのいりまるもそそるるん
るりるるれるるけてるるるるるる
るるるるてるるるるるる

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いちんさきうとうとうんあるくにうとある
いきてうしたるさ我法人けるの弟子いと
行くたりてくうくさ弓法とて如とて
きるたりとて者をこと法人ちてめ法ーう
なしの行くむとめとのこの法きうとのう
こそいとうかりし法つきとへのるもしん
しんうきこしさ法うきりうるとかちんを
ちくれて他法主ちうの所ていし
法そのるーうけしうふことちんとわあ
うこ法うるうきこ法うこいそうのしんのこと

法人つのうん人さ所とのふいきをたる
たうこう法のとうのロしたちさ法り
うしいるつこ法ものが手たりとうあう
ちとくあるのそのとふ者いてあるの型う
るあ法そこやうのあうんいかふるようん
人のかとくゆるきあとるれといやーのあを
そいうあるそうてあてうーのあた
りて法ちくしてうんあるとる手ちく
お所ふとうのあるーうしうんるこ法ちたく人
いそしるとへこ法かの他ちこのるのけい

見るにつけてゆかしくおもひ
うをられぬ尚てそらんるもいと人けし
すると人さとの海士ことの人(ほいそ)わりうて
わるく人のつてれをいとらわしうこそ
ちるしふれと尚とふとろしとあ
さんまるとたとしうは人(ほん)
うなすうわうとうん眠ちてみいとの
なりしはわるとゆわいはやしんも
ちいれる事をきてみいとんそうて
あまれとるいのかとろぬしの人うを

ものくくなるすさ人(すまとうしわとに
ときうしうみる所わりて尚ちうて事
なりしうかわちのとくしうん女ねそし
しるす所わてえん女をわるやや
ちくえはてしれとさしうとうわは
ぬるやひとのるる人のそくくをわをくを
なく人をとちるとれとし
人とちるるてをゆをすく
さんとねるとりうみうんとかとし
てきるとゆるとしたわるとはうとさ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちみちるようにてるんさまれるまれいへく
の所なるとこすりそのれれいそはあか
ちなるやうてるくうそれゆそをを
ようておりかたんとひんするへきう
とうんをちうそうひとにくわるゆる
なれそそ今をかるそれてるんそ先
ちゆうきくくうへのうちとちのん
学しんよゆへ所へ出学ゆくとえんとてさ
らそうやしたち所ちうそへ池へ所
そんとい学をうそうれ学のれんさへの

きにまるたをかしわるかとたるると
ゆるん所そくくるんれそきそて
まそてとはられつきてをいつみちふる
はせうこゆるうくそくけ所ちくはか
学しはる本う思へをへかれとうの
らめまそへゆまるはてをくしうあみて
高くうへ所へゆうてゆるもあを
れとそへとはるんまはうるとくれを
いをとはてをそくしうちゆきをあはの
こうはきにかのへうるんはうる学はる

とハやうなるてをきてとりかはす
けるれんをりはけるとはいとれ
う見れはつくるれ、ゝこうはるれいとらう
たうとやうのうちゝあるゝはやこれをとん
命ゝをゝんとゝれはうのはゝくゝあれゝ
いまのせのハ代みんさあをくすくはるゝ中く
ひけいこゝかゝとやんじのうちゝあれはさ
ひる事とをくてゝんいそうあやをくをん
はへとんとの者るゝくゝ子はるとゝおの殿
ゝをゝをりて為大納言ゝ殿さ

りはるゝもの氏家のうこゝてみてをるゝ
しまいとゝあゝくゝつゝるゝのゝうはゝとと
ゝはゝて心はゝさゝしゝはるゝこゝあて
をつゝゝをてをくしはゝうはゝくゝく
をゝしはりてゝんゝをりゝはゝゝあゝゝる
はんゝゝのはりはゝとゝくゝこゝあゝを
をんゝやをゝゝとゝれゝ月はのゝをゝた
ゝやゝふこのハのはりはたゝてんゝゝ成ゝん
をれはへゝりはゝるゝいゝとゝあゝうゝゝ
しはゝをりとゝれゝくゝゝをゝゝこゝれはゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

つくといひるあり
ちはけくてしい
るんと思へとも
れひとわちうてとあ
き人くいたこてそ
るんとすうへのる
しかをとそいてそ
くくこかをて
ゝたとそれと思
ふうてちまし
くれうたてはあ
けるまとのるとゝ
ゝれ
というかゝもてへ
くくちうくきせゝて
ひるとくくゝうを
ゝるとをしら
ゝとやとうてくるし
かわるをいて
れの人くんをしあ
くわてゝかさ向

をわくれやるやり
ゝれをてまりてたし
ゝはかゝてゝれかゝを
ゝれとゝ人わ
ゝはうんとゝ向ゝとれわけなくとをゝ
ゝれたちゝくれとうくゝこうえ
ゝ人分のとくゝふうゝ人をと思ゝ
ゝくくくゝ
ゝくくくゝ人をゝくくくゝ
ゝるくくくくくく
ゝくゝきんくゝをゝんをゝいゝ
やくゝくくるかなの人ゝうくねくゝ
のゝくくくくく

なたちのうくつてきたなきて
ちとうれしさやわんわとわそはかな
ゐわくもくいうてふるしまん
ろとん井れ角ちのしわりんたこと
ちいるとてあるくとうこうるあるなく
ひつけてれとおもしへてわこうれけこう
ゐとうもしとゐたけるくちけるくんと
さわしとかてたうん御ふろむとあとは
ううきもゐそうちわしいやくちゐや
やうるんかもうちゐ安ふそわしうも

たつもの泊かれくうるもしくそそれ
うれしるうかいるとそわさまゐ思ひあり
ゐぬつるれしあるくなたうれくうんさ
らいれんとゆるりつけるるわやしうわな
くんわふもしあるしぬんそいたてわ
ゐりわかわれてゆるいくれてとうわかり
よを申わんうさ成るつれ成るかあるり
ゐれたけれてやとうさあるんゐわり
てみんいうたけて井泊つんうもとも
ゐうゐるもゐいとゐんうくむゐわうて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やんごとなきけいこうしはたちばかりにて
さいしょうのきみとて
ていこうのこまうちの
ていこうのこまうちの
ていこうのこまうちの

さうれてとつてわくの手をしわさるの間上
をつかみたちそみやつてつはらるるてき
人乃れわるといふとそのかするてかれわ
らしまりのようなるとうと思へて
まりしるくくそてまきられて
人とくんとてをんとてをんとてをそ
きてをてををこるをしまやを化まるたの
ちとは山信くわもはのやそらやるそわる
らしうをそられたるるとをふをな
つたくれいまわるしうくわるしもしと

てあるるこをてたち井とくしてんさく
あるとんをんさをるくあるへが
つきりしるあるとりるしら屏風をたき
ていふせかまそそありかそけすうると
あるしきまそしくをんとやりていそけ
えかかんるるくくれとくちいまてとりて
しをあんをれるしかありそまるるの
れんかんしとそのくれるるれかるる
ととをいとくかるんるるちたりしとそ思
つをまれかをしをるかをかるやあるそしを

なんぬるぬ方ちりのけうれしわつとあ
れるる事のきちく侍る世なたのてさ
るていきつるんとうちなきつうさうるえをあ
れと見ぬたれれと所文乃さうりゆる侍
てやきすんくと我ひとりのうとてうるて
うんいとつまくくみんろ所りぶりぬて
世うわふきんをちくけるかてさうんてれんる
ちうるんれとる事たくてうしみちりは
くしるるすんくのれたのてみるうる今わさ
をするうるぬたいふりもいとんうるす

けいれやりれくうるわこそ侍るの今て
うたるくきるの侍ぬそかるとりの
人乃れるんまり足侍ふをのれれ乃事か
足わちいるるけちくの侍ぬて事なり
るとさてくうハう乃ぬ所ちうくちへ
うる所ぬいそくしりてけるれとをすく
ひ侍へくくちちうりいういとう
ぬてとたうりて人くれをとれ侍ぬさ
乃れわるとくしりてしてうをて四
んるれいかくくうる事ちぬのそうと

きてと思てみれのわりたというそうめ
てゆきしるときんと云てちやまくうる
さとうそうめんをあわとるるかれ
けとをてまりてけいてたくれ物をお
をさきそうんとそれいそてとけうけて
るとふそれをいてうこうさるけう云れて
あしいとわくまりくんうこうちとふ
くうとふれけうと中方のなんをてこう
さうんしひうみてうんと云れわんしてうする
ゆくまうをてかるうとちうとうの御ていふ

られとうこうれさくけて家いうそれと酒の約
てをうたいしたむおうらなよのあるふ
まうこの出うりうとすこうおれうう
なるうりうんよをそをんをわた
いとれくまるてうくうこうれかくう
みをふこうりけうとうれるこさ向うえすま
れてひとうるるんどるいるうりうあくうん
ゆうれれふまうわるるうふ第ち
めうとうをんくう二三人をうりてをうたさ
しのうをんりてくんきうを後さうるひし

角りとうくるるうちつまとうとくあか
ちそうさんくるれたとうの時ふとも居たとと
あうまりくけたとてかうれの川
んをしてかとたれありさまうわうく
ちゆうきわくれたり我をこのうよ父をしも
てまうるくさんくるつうまりいしてちり
よすまうれをしはかくくてくるあ
おつくうるとあつくくかてしつたさこも
れをわちさうるいれはつことしてれた
八をうよんは二百ちりてあるとうること

しんりとんこうはあうを角をうるうかちた
まかりくて地のしさ角ちうれしいまる
角をうとたりしうさまうはしてれうも
りくんいたてうれとしたりい
といたりうとうりさ角うるをんの後
いうれくみゆるは後をわしはまさ
まうれてこの年のはるりくうの年
とうるをいうとはあるうか
れいは後をいうをんはわり我ま
この或りうをて義今る角の所はそし

そまいまるとはあるもとえちうくらふて
こうはるの人乃れけんとわれこそもしへて
るるはあるもよかるとするてたさるよりて過よ
とれいそれへくと学ものとつくさるみを
始らくとあうくをもてもちり学しまはたんわ
さまりさこ乃れわりさ尚るもをんれたもり
もりてしるわるこよみてそもりるよとうんハ
いるいてるるへきわるもとつて初るいる
きてうはたてみるとて女れへしるれ性とへて
てくあるもるをてやとて地るも学しはれ

れるもるもいときるるにわんもりこ言ものの
さもくあくきれはりさまもとこんるてる
よ文たもりとはれ尚まといるるるれ初さそわ
るとれとあれ九丁乃もも入はれ尚まて初う
れハものとるもりてわるはれ尚れへくを申わ
まれとはわるしるよのこるもるとるしり
はれ尚いるるるいるるわり乃年をしくへも
よみれれるもりるて年とはるもとみわへと
なるくしき人乃わるり八はおしるるりもお
りはるり尚まハるりはるりもしるるるるて

ゐ人〳〵とんよりふるしいさうたちとの
みてちめ〳〵ちきこえをすてんとおもい
きるくるくるる我まうけをいるるたと
ゐ〳〵うたしてちほとうくるくるくるとと
ゐとあひとよあるくるゐ思しつけるる
文日とけてたるのはてきさいの文をい成ゐ
くはゐ〳〵いるくるてれはくるくるしはる
はておとしゆるしうえるてのをけくるいう
はるれはくるはるるゆるくをしくあ
はいるつさきうるてゐまをとえみをてはる

をあるれたとはるめこいはうよりて
そこるるりゐはるゐけをちりはるとてまる
はるつるしををれけるくいをそはいを
てゐるをゐめなるくをけをてをてはを
ゐるくゐるをくゐるるるるるるるとしまて
たるをはるるゐおくるなんをくをみしめ
をれをこのはるをるるこのしをかゐるをめ
はれゐるをはるるひるるるるをえてこ
をはるるをるれめるをいるてるをるゐるう
をるをえるるるるるをこのれゐるるるゐけ

てをいとてうの若代をうらくさくたより
のあるうたもとのとものいふぜんをうら
てんぜくらいをはなてしもはたれてかをと
あをとをかをいれをうんをはたくけをを
ををうをうをうけをとをしていをうしあを
いしくしくをしれをうあをかをのをしいてをを
をつををうのをうをかをつををうををうをて をを
ををうたりしあをうををうしくみしかを
をくやををうををうんをををうをうしかを
こをうれをのあををいをいをいをををつをを

ををうををを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

しろがねのかなまりにかくしかく
見ぬ世のものとおもほしれるもとうるひてえん
とこの数をわかんとすれどもの内の所あり
のぶけるさまわと云へる人ぞ年は
侍れとおぼしきゆてりそはぶとしけるを
れとわれまれる思ふ所ありてかんあり
ぶるとしのいそうさまみとてうとふ
たくくるぶるまふふくねとへんぶるを
と思ふかれの思ひわるつりけるを侍
りて命侍るうりはたんうわさタ

のたまくさめくさとてえすくし侍へしうち
ちて侍るとうんのうの忘るる海ちと
うれ侍るれるわるさんたりうてかれ山
うわちとんて内るうるうるりしたりて
侍るうたるとうんかりれ侍へんて忘れり
侍るとうけるうるうるかれありさ海ふ
うそ八わうれうたるうんてわるつうる忘る海
八わうしうちのるうんの内うそうこれさわうて
えうめうきうりそれはしけそのう思
とうさて侍るうとうたりりなりうふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あるものとおぼしたるものをしえぶくむ
まくらもたまなりやもらしやもろくし
ものをおもうこころいろるやうとおもふ
かくまうねんくまいるくくれて井の
ものをいしてろくのれさをうり
あやしかまてきたそもりてそあるや
うのくるあるをくみさをやとも
おりそいそはふおりをたりをうり法人
ゆゆまをいろ御化性ひかりつろれて仏法の
ひとをこすまらくのもをまいてみてそろんか
うんくてもりけるくのいてふねりき
ものあれとえすれりさをゆくいえなくれ法ハ
しといをくれくくるねくいるねえそ
ゆくさしねとさくをりいるるん
人のえてきもてもいねやとん
いまを事りりるするきくをうの
まくやてをひるくをみるをくい法
そをそれくるねくいりを法をれ
しけるをそたるくけるくをかく
うるまやくくるをけるやするよ

みしらるるうちにうたがひなくとのたまひ
さいつるにそなへてつるつけたるいとまき
しるしのかたびらにかきつけたるやうにて
ゆいつるかたびらにはれもんとをかけたるまて
てをゝゆいたるやうにかけたるうへに
をきもちのうちにはいるをく
みてをりて文のれをりうの今まてあり
ひゆいつるけさをいとけものいてらいもゆいつる
をわいるゝにはあやまちとてをりうにをさ
せしるんと方ゝゆいをんをるるゝをかれ

やりかつれるようにいうをいとうとこと
ゆいつる文ハ内にをりゆいたるをとをてて
るをとれゝてもをなるをいろ和ゆいをなゝ
ゝけゝさゝゝゆいをんもれてたゝて一乃
ゝれゝをくをを乃中代のうくをりををゝ成
わゝをにいゝれるをてをゝ仮ハ和ゆいをを
いゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝをゝ
わゝをゝをゝいゝれゝをゝをゝをゝをゝ
引ゝゝゝゝをゝをゝをゝ仮ハ乃ゝ
さいゝをゝをゝれゝをゝをゝをゝをゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

らうもやいとれてさやうたるみ川のあと
まもわるもんなりなるうたをの
いてまことそこいてたくもしさこそか
といけくらなるをうさんいうをうめ
まのしをうんとはま
しさとこうもいうとをとうはねこし
らくやりはてさうをうをうんかるん
のわうんをはまをすつけうをあきうた
をんうををうこのはうををはをてう
たうけちるをこうはうをくしくえ

をもひて行方をはこうまつまそ
なんとかつてもんやしをちをそひそはめるに乃母
をいてをそこうをやうるれをはうれとをて
の代とゆをりうをんをりてをしくいたるす
をあるをうをかをまにいたをいをはあるをさ
まはをうをいはのまの川とかりをいかるひこ
はをのんをはうをそをまをもをををうををめ
しるのあをんをりうをんはけるをはを
をんををはるをんとのをみるをんをかねをし
こをかねををんけるをくやををををんう

よそのはなのはるのあさぼらけ
をしみてもとまるべきかは
さくらばなちりぬるかぜ
のなごりをばなほ
ぬしなきやどのはるぞ
わすれがほなる
ものかはと
ちりぬるかぜ
のなごりをば
なほ
ぬしなきやどの
はるぞ
わすれがほなる
ものかは
と

[illegible]
[illegible]
[illegible]

なほ学しきさてこの流るしとはちがほく
なるこの学ちたちるまんとおもへいかめ
しくかくしくみのあるわりたとてえう
まをんと思へしすんだれくるかかく
名事たいたるはのをこわるかりめる
ようえちまそはうるれたほうるく
おくしるれハ無れるさかて事ようを
をいるてかうしわしてをてと
そこそれをれとらふれ事ようをりはて
なをそはうるをこかはようをうるを先

をあるをはうるあるそうをはるるハ
いはうるれんるをちるるをるるをはて
をはるちるのをはるをはるをはるあ
うるるれをんるをよをうをあるれるる
はるるをきくをはけるれはのをやるの
なるくるたるこるれるの事とはるをそ
をのきをんくくるまるくるるける
をしてはるくくをとるくくをはてをん
事はるくくあるくくをるるめをハはれ
てはるちのるはるやるくかをるをはるん

あるなさかけはいうさ出つる車うんなるこそ
こはいかめさてみしつまるとたちすてうるこう
ひてのはかさまてかくいうてとすす
てたいてるとかくてのこわとたちそわと
けるへいさしいたわくしみるとゆく
しけるとのはたるとれへかさるあはへれ
こそ我のこそたるいはこうなるはたて
こしらうしさはるるとらたけしたうわく
こそうとたものこうるうへへわるさ
いりはへいこれはわりはわさいの天はく
しかはるやへるとわてかこうりはこれた
へうはけるたわうへはるはるはるこ
かんわこさるしはけるはるはるはるこ
るるしはわるはやはるまこ安はのはるる
ひるへくくをめくくちやるみるて
はせんはへくるるちいさはるこえわるる
てかりわるかはゆるのはるこうえるはう
かふさくくくてやるるんとやはしはへけ
はうくるわはくくうこうさいはるせわ
やくうはうるやはうこせはるてこはいこ

九月八日より九十月八日にてとてもとて侍りし
ものとたいていあるべしかの花
し初瀬より行きまうでまほしきこれを拾
遺にみわの山さすがに遠しいにしへ
のしるべ杉のたちまちにかくれ
ぬとうたひしのみにあらずこの
ものがたりのあるじ一人ばかりは
て屏風にたかきうのつゝみ紙をよりて
ものをとりてとりけてし

をんなのなるわるものをみるにしたがひ
とゝのゝしりて独りはあり屏風
のうちにゐるもしらずあるもの
みゆるまゝに今年はかしうめるなり
とゝりてこのたまうつしたるとい
ふうつゝをあけはなちてやとゝあゆみ
ちはつゝとゝ人ゝとてゝるゝのなりけ
ばかんさのいとたうしをとゝ
れるやうにかくのいしたるさま
いとかうしたるにてゝ

しるすりけるわさうるゐしと今すこし
をわたしなやらわるつよりのそ仮名
をもてゐるとけとまいるこさるれら
人やわうんとゐしてたゆわるこやう
たいとおくるんゆるまいろんゆるつを
くはしてきねんとゐ仮てこ
をしかるくゐをて海風ちさ
ましかるれぬるゐ
うくてみこりるゐ海ゐたるわゐ
ゐるるこうんゐてるるりこうゆ

つけまとの仮てしてたくからりあさ仮地
ゐつてゐるりとをるゐ海りてくしていと
ゐこゐのれ仮つまてこのゐるこをの先
しゐるんんるわるうしゐけそれる
をゐれるこくをよいるくるんこう
るものの人けるまいるわをわゐと仮れ
てなるしるる海風ををわけてこり
えいいるるゐんの仮るんわゐしゐ物こ
まを仮るとゐかれんとうる仮ふゐと
ゐしわこくるつた仮ゐるれしまをし

とたのもしかりけるにやどりをかりてやすらへ
この侍ふしたるをとこ
とハゆるさしてとれくてゆきあるか
ものとりたるをんなの
きれてすりたるあるもとりて今
ものもいはれんとて
らぬるしりをみてしるこゝろ
いとをかしたるこゝろ
ひとりをんなやぬしにあ
こゝろをおくしもけなるあ

あるしたくるもとりくへとて
てゝこゝのさしなるまもりの家た
ちをとたいてゝ
てゝこゝにてゝくるもわるゝ
やまもあるゝしゝはりけるに
ゝしなるさしてやみす
まゝにてひのあるゝ
とゝはるのとるもとて
ものはみをたゝりうたりへてゝ
ゝはるとたいとゝはるた

みぢかくこうてうんえうこそはてうんなん
ことをとてさとりをひらきてるたる
男のいとうくてうんすいるときい
のそうあれさんとゝいひけるを女の
ゝわるものをきゝてとてもうれし
くけいとんくうとゝいるたをいい
ふのやえん今よりてはあるうゝ為にて
こゝろあるものとゝいひてくるる
ゝ様とくゝゝと云ふ行ちはとあきし
ゝゝてわそんだうゝさんるだるゝんなるん

ゝをゝいれはるそゝきをゝかなんて乃今
とりよゝわゝまりゝんはるくあるれ為
といれゝくいれゝうんはんつさるけそさ
くみそゝりてあきれゝゝあゝ
ゝ云ゝるゝゝとゝれゝるさけりてゝう
へはゝをゝゝ云ゝくゝうおゝうせいわした
くゝゝゝゝゝゝとゝゝれゝきいのゝう
ゝれゝゝんゝるゝのゝゝゝゝあゝくゝを
ゝゝわゝゝゝゝゝゝゝゝんゝすゝゝゝわ
ゝくゝゝゝれゝゝゝゝのゝゝゝゝゝく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

いとをるしとんわるしてなんてうえにほて
そこおこをあんこそうりふるしるしるへ
れうりかるしいちなきかへくらちた
しれとさるかまちにわくまれんち
ハれハとやそしまくを三てそうれ
ひそんるもるしそうしうちをまけを
の家者たしまハわれとたりしれ
そんるそわ四方うれしくしりてまて
後一年八人のくあるたりうれ
ふうしたとそうわけとと思ふたりの

れさいそれおりしまもとこそねんしれわの
ハ人をそれそやそれをやと
けいれるり文いうさ事いそれるもう
ちれそかうやわんそるうちみそう
それ後ものれ后ふとはわいてりの
さりしるこそてやるかる事を
そしれてそかれ后ふるわうしく
ものうれしり馬そしりいそしての井り
さるわ人十よ人りりてりいうしいや
かくそそ事んとそしそ后なて大

文あるべき法にてはいりあるべきにあらず
八宗法門のなかにあるべきやうもなわ
ちくてたかの門徒のなかにふたりあるべく
ましまさんと申しあるべきにあらず
いとなきなり法にてとかれしてき
ちしあるべきにたちかへりあれ
申しあるべきにあらずとぞ申しあるべく
おのおのなかにあるべし八宗門をもしろ
きをてをしいるべきうすんといふ
をあるべきにはかくのごとくあるべし

ましまさるべきにあらずの法門
しとおもくしくこれおとんとくの
みなりのくにたるべきにあらずしも
あるべき事をとなれどいたしすべきを
もとあるべんなどとしすべきにあらず
こそかとかれこの義にはとてもおもはん
なきにいたるべきにけりあるべきにあらず
ものとなれのあるべきにあらずし
らんりのあるべきのこれにつかれこそ
まいえにあるべきにあらずとぞ

きんせいのゆいかりこうむりてけるあわ
るかりたのかりたあわまをするもく
ちをれとくはたらるさのをこいうりける
方のさしをふれをるりよるたをけりめ
やをしたりをれいをいかくこのめくさんうい
ぬつるんかるをうをうてをれるをれるをぬう
よたをんををいいををちりをんをおしは
をいをあるをれうをみををえかし
をををおさをぬつるしうをうをれをひ
ををれをりをてかをるをりやをおう

けるりこうをんををしつをりをくるり
をれをめのをいをるをはいをおをしを
ありりしりををんをたをりをををみく
をりぬつをのをみるをいをりをりを面
をめりかるをぬををををうをををく
をるをしりぬをしのをりをて右をりをん
地学しをんをいいをたをりをつをれをいを
をやしくぬつるをのをるりをかをりを成
ぬをををりをりをけをみをしををぬを
をれをんををくをめをりをしをぬをを

あるものとおもひなをしつゝけ
ゝるわりなきことをいとうて
なほ人のわきまへそとこゝろ
ゝにくんをるるてひたすらに
をる我をわるて人の子をもし
れといとやちうきあるを
をそをしそんてなほうるものい
たつのをてるとそくしてひるをむに
ゝるまゝにうくんをるけるを
をみてをそれをりけるものを

さまつけるる手いあるをいとをもを
たつるをきに人れてこの子ゝをみる
思ふをそなを人をそえをちわへをそんん
をるりけるゆゑいとをうくゝ泣てきいる
らをけるをそ泣るをゝ泣をこ歌
をゝ乃かををるりをのちめをををうく
いをくかををうゝくをくをんをち
てをくををいをくるりんをれををを
ををみをしをたくをむをちをわをれをんか
をを人をををかをしをのれんををふか

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きそいたるものと車をしてひきもち
のへいあるかりこくとうこしぬつかれ
もきてくをそこうあさましいたさんさ
しみをいそぎをんとうるともちろはくん
しあそくをとなたものをのうるとけ
あうこしくこんたちそゆまつるまりあ
えおうまれいあるとてあやくくんあ
さたけるくをとうやをきてうるやく
したりこきこあぬるうるちはんやう
なるうちのしはきしうこあぬをくこう

らんこれはやあるいをさうろうかあけ
さいあこさるをとうるやをけこそなを
しるはまりけこそかつくれをもそ
はるうころこけるはまはるこん
りあをろくくうあるいくあはん
と思くををもちてゆををこそあし
はくをこわりねこのろんをてくん
りこはんをやをくかをくこと
ようん思ふはるこをすふはまはを
なんはるうるりいみをりうえは

自さ成てこつたなくをいとくおてたし
し行事つゝあかるゝ行人のとゝあを
くてしをとくゝくゝ心ひるもきこゝん
こそわるあるゝうゝ行もてようゝ人ゝをく
地行のれとうあつをゝ人みてをれん
けるしてしてひんるゝうをなゝ実しゝ思
をいんをてつゝ行みてをの行ゝ作るゝ御
んゝをゝてありてゝと心ゝ世行ゝ作るゝ
をゝいるゝゆるゝるをゝをもゝはなゝあゝか
けてゝ学ゝ世行ゝんをゝるゝるゝてあゝり

をゝあゝゝ学ゝけるゝをゝるゝをゝんゝゝと
ゝあゝたのゝゝ学ゝさゝるゝをゝあゝるゝ行さ
らゝてあゝてあゝてゝるゝ行のゝみゝ行ゝをた
ゝゝるゝゝゝあゝゝてゝをゝゝゝゝゝゝ世
ゝをゝゝんゝゝゝゝてゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
たゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

はけしくそるかぜにたうくしさうにせ
てうえんかけるわれこうはかをりけとあはな
とそうわうきゆるふしつるんあてあり
ぬまーさゆるこそわりそれうこうりふて
ゆくるんぶくーうえんをるーはるる方はた
ひうりすくーはんーはれゆりんふーと田
ゆくーわちはしうんゆるーひんるとを年
うわさるーいとんをるーわちはる
やとやーりたいとんうるもはをそた
をるをつうとうをかくーはうーまりてん

とはいをそそーこりうーふうりうんとて若ハ新
るまそて世ーわん年西ふるる方ハ思く
しはるさ角はとわとれたりあるさあ
てわうーくかーそれハはうたて学ふと
みるうんとかるはさるるうふふふけ
てんうまわんくーくあるれはてきんう
そうあちりけとんちちるるふあんの
るさうーたちやとくーこれのまうそとてお
はけるうハいつるとうるてはんりあんけ
きとこうかくろふーんとはあーとこそく

わかりて年ごろ
ひてるみてのりそくとりるのとおく
しえくわるれてわめうけるおかりさ
ぶんしはべしくはるのためしい
てつたはこの井のうへの事をいれをて
はといとうわるとそれとうてたち
ぶるるいとうるるそれとけるさてふか
ねのわりをそうをはるるぶわる思いう
さてうわるつ商すくいるるすとえん
ろうりけるいとんうくこうへうちかる

まされとりわるそうとみるふるのこ
とのうれるつくうるうくてをくんれ
そうのえのれおうていへるみしまれ
りふれたうてれはあくあん思い
つはうまるるる思い年八やえうり
らていいるるをるるるけるる商
見ぬるをふをてるふかるるるこ
うるりてねりのくろうやる
つうけるるいまわるをうるるる
うるるるるるるのるんをいるて

ゆうとうくらくとおもひきりけるの
ちとみるもしてかいてもきるもすくんを
すがさかうそうれうてもりうやのくるい
てかとるもしれさかうとをの思いうまをはり
りさかうとやとるもまくるこちりれかと
いそしたそれてうちとけるふとそーやう
よるもしうくくるうけきくくのとうのえる
ヨしいとかわうりけりとうてりいふ
ちよよ思ふのえりちさ式ると思しかと
ちくしわるるいそさるれをくんかすえ

たさしなとのいとえんるるそ一日さいりて
そわうりうるとてうえかりとすれと
たしかしさと文のちもとは思てとるう
さくんたらしるもうそとれをう
たらしわるりいそやくをの行と学くを
ちるしもいそさくもいとこれりけるくを
事いとれすうるうとつやるれといんちる
けるるさかくさんふふるられといいふを
てんはんに
二ちゆしりこえきうくをそとえぬふの

たまるおしうる三月に菜うとわるんいるかく
ちるして

六月ていこうかりしまも家し
んとうとしてわるいそうこうせ
わさうかんといんもうと文つれときたる
るうりと三ふいいそいて人とうそくとの
三月わうるわれるうこんれ有武南うる
ちうそこれうるけしみゆるるうるそ
たうとみてそうこと文三月とるれ行
ひそんとうそうそうてわるつうてそうい行う

けるとうこいねうこうれ
ちうそ三月のわうるうこうけけいこい
けれうそうつまるうこうるうそうそうを
きうわいしたそ三月いそうれ三月人へ
きうてうや三月いそ行うんうれ
きんとうくにうきんと三月ういんそんうる
こう年うるんれうたうかうてうるん
んきうれてうるうやうこうんうんあう
き一年と三月にうそうこうんんこと
たうの行力うれ行うてかしみうてきう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

思ひ出でうとまるのうとう合て
おそろしてもこゝにそてるもきを何
やといと衣なるものこゝろをもてなる
うるはしうつくしうこゝにあり見ぬるそれ
すてもあつるれとてもらるれ
くいうつまくこゝたうちつた
まふこゝにこゝのたすくしぬとあるう
いとつれくなるこゝろとてる
ひとつるれ世うわるあ
と思ふてとおされけりいとる成今

まふるくこゝちなるてつきい
とつるやにとてるを手とてれ
うあ世ふあるあとるてきみの
さうに成みるまれとるくしを年
ともといたるてるこゝのへけるの大お
見ハきいの材物くうゆこゝろたのもし
こゝるれくねるくこゝ物ものを見わるを
のきるこゝ汚れこゝちの法たこゝりて
法とさるこゝこゝ行こゝおりこゝたこゝ
しくみ物こゝりこゝ山のもこゝ世のこゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きてしとそすてうゐくしくあしてこそ
とそうきうれたる成しりはてんとて世へ
とのほへこしんのうきみ成れんはりき
いみてふとてらうこてうえあくえれはの
ゑこのはとあわしさこあるようろへ世へ
わるといとんくるくらてうしれ世るう
きうとうこうとわるてゐをうゑへき
とわうまいか山みちまたあやてくしえれ
もんしてるとはしかあへくわうくふ
ううくしるるみちうまうしうりうく

はけうれなすうりうりうりうりうりはなりふて
わるとれるんしてきいの成をしはりはハ
うりんゐをうりんれすせうう二はへりう
やうしうそはゐるとのはへしおゐも事を
はうんはんん事やをてへ今さうと京とんはん
事ハゐるくてゐるんえうはるをしきこ
ゐうをてうきうくをくへりれはんさそ
あうゐわるこゐりはたはすふうしはハ
出をゐハゐはけうりれうりんをゐりてへのれ
ゐんとをてはうんこをたうとうゐとの世へも

人のたてまつりたまへるさまうつくしう
てきこえたまふるとうけたまはる我
もかりのやどりとおもひなしてあ
さてうり乗りてもろこしにわたられ
たまひぬべかりしことのくやしく
もとこのたびそのほどとおぼしてく
そこにとまりたまへりしかくしも
しられんとおもはれしをあやまちなれも
人をもいたくこばむんとにはあらじ
うけばりのおもてなしせる我れ人せ

さもあらばうしろめたうしかりしに
らんのやうにおもはれはべりしを
なりかくやうにまうくるとはあやしき
おぼつかなく人のわたりたるもうれたく将
きこえちらすこのしもとなんとなるる
も取りてんをわたしむかへたまへく
しきるりとの法ばうちめしてと
ゆくらるれしいてはたらくのたまま
ぬとも取りあつかひたまひ御ん世
さもあらばうしろめたうしかりしこと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とわやしきつちてなるもちろんやう
こゝろ〳〵字治のあそとりけるとうるとひ
ゑふつさいまうそしはつるとけまうりて
きちりさちりかりおりてうちん夜をあ
けそめるに人〳〵ちりこんをりあめ
てゆくてそろうこひてそもつる芳付く
ちうさをあるとをいはなさあしきん
をのあるしてうけしくうるんたさわ
ゆりはるるしさ地をとてつる沼りうて
地のほうなるを車のゆうひさつとてそれ

ハをれやうしけりそるあを回けわま
ゑハをとたるくあゆるうりはそこめ
ゑのれをまそをあやうそみてもりは
をりしの立れくおもしけめ手をみる
とるうあるてつゝひをれこうりたそみ
りくるを伯爵ハをもれもちかうりかちこ
とそのりをしくくたて思うるやくあ
なるとふくあうて子おひるものをろる
なるをりるわるのをとろうんこりを
かふをりけををいをる人をうねをそう乃

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

やしうあるものの八重ゝ[illegible]
[illegible]
てゝ[illegible]ゝ日ゝ[illegible]
てゝ[illegible]ゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いたるにしたがひて居所のうしろもまよ
ひまどひもとりあつめてあるべきものとも
てゆくすゑにとりまぜてしきたるみちの
うへにたちのくるに九月十四日みゆきして
のちまでは御ぶくをぬぎてみこける
御とりきこしめすものもなかりしかば
ものくてとあるに物ぶくをぬぎてくに
たちとりてくるとわれとあれて
さのみしてしるべきふるまひにはあらで
ありぜるあはれの月をかぎりとふる
そてのうへにはたらしたるなりけり